第1章 はじめに (計画の基本的事項)

計画の目的、位置付け、 構成などの基本的な事項を 述べる

- ○景観形成に取り組む意義
- ○改訂の背景
- ○目的

<本計画でめざすもの> ①生駒の景観の特性

- (生駒らしさ)を認識し
- ②その上で前提とす べき「基本原則」に則

<基本原則>

って、

<景観特性>

- ③景観を構成する(成 らしめている)要素を 読み解き認識し、
- <生駒らしい景観のパター

ン>

4市民·事業者·行政 が自ら考え、協働のも とで景観形成を図る <方針·推進方策>

計画とする

- ○位置付け
- ○改訂にあたって重視した 視点
- ○基本計画の構成

第2章 景観形成の基本理念と生駒らしい景観

景観形成に取り組む上での基本理念と、生駒らしい景 観の特性を示す

1 基本理念

- 1. 生駒らしい景 観の特性を認識 する
- 2. 生駒らしい景 観を構成する要 素を読み解く
- 3. 市民・事業 者・行政が自ら 考え、協働しなが ら景観形成を図

2 生駒の景観特性

生駒の景観をどう認識 していくのか、を示す

景観特性

1 地勢

地形・流域など「大 景観」として生駒のア イデンティティを体現

2 地域性

自然、田園、市街地 景観など「中~小景 観しとして場所に応じ て多様な特性を持つ

2-1. 歴史·文化 の文脈

2-2. 市街地開 発の文脈

2-3. 界隈の空 気

3 暮らし

1、2の景観は人の 暮らしの中で支えら れている

第3章 景観形成の基本原則と生駒らしい景観のパターン

生駒の景観特性を踏まえて前提となる基本原則を定め、それを構成する(成ら しめている)要素を読み解いた上で、普遍的なキーワード (パターン)を抽出する

1 基本原則

特性を伸長するため前提として遵守す べき原則を設定

基本原則

1 地勢を尊重する

地形の骨格がつくる空間の構造と景 観との関係性を認識し尊重する

2 場所の特性との調和を図る

地域により、立地により異なる場所の 特性を読み解き、それらの特性と景観 との関係性を意識し、調和を図る

3 暮らしの営みの中から育む

暮らしの営みと景観との関係性を認 識し、景観形成を特別な取り組みと考 えずに、当たり前の行動の中から生駒 らしい景観を育む

2 生駒らしい景観のパ ターン

生駒らしいよい景観を形づ くる普遍的なパターンを抽出 パターン

	○ 争 兼 看 : 〕
	発・設計
	○行政:景
	事業の事

2. 身近なまちに応じた景観形成

- ○住宅地
- ○集落地

3. 景観形成の施策

- ○支援
- ○誘導
- ○規制

(方針と推進方策) 第3章で示した基本原則を踏まえ、どのよ うに景観形成を進めていくのか、その取り組 みの方針と推進方策、役割分担などを示す

第4章 景観形成の推進に向けて

1. 立場に応じた景観形成

○市民:景観づくりに取り組む市民、住宅の施 主、市外からの応援団

○事業者:景観づくりに取り組む企業市民、開 事業者

観形成の枠組みを整える立場、公共 業主体

- ○商業地

- ○啓発